

平成29年度サイバーセキュリティ政策会議について

1 サイバーセキュリティ政策会議について

サイバー空間の脅威への対処に関する産業界等と警察との連携の在り方について有識者等による検討を行うことを目的に、平成13年度に設置された生活安全局長主催の私的懇談会である総合セキュリティ対策会議について、サイバーセキュリティに関するより幅広いテーマを取り扱うために、平成29年度、長官官房サイバーセキュリティ・情報化審議官の私的懇談会として改組したものの。

2 平成29年度サイバーセキュリティ政策会議について

(1) テーマ

「新たな傾向のサイバー犯罪等に対応するための官民連携の更なる推進」

(2) テーマ選定の背景及び議事内容

近年、IoT、レンタルサーバ等のサイバー空間における新たな技術・サービスを犯罪インフラとして悪用した新たな傾向のサイバー犯罪・サイバー攻撃が発生しており、特に、平成28年10月には、IoT 機器を標的とする不正プログラム「Mirai」に感染したボットネットによる大規模なDDoS 攻撃が発生するなど、サイバー空間の脅威は深刻化している。

こうした状況を踏まえ、平成29年度中に4回の会議を開催し、レンタルサーバ等を利用した犯罪、ボットネット等について、構成員等による発表や意見交換を通じ、官民双方が抱える課題や官民が連携した対策の方向性を議論し、報告書として取りまとめた。